

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



奉仕を通じて  
平和を

田中作次  
2012-13年度  
国際ロータリー会長

第1393回例会

R財団月報

平成24年11月29日(木)

於 名古屋東急ホテル

会員 64名

出席計算数

60名中49名出席

出席率 81・67%

前々回出席率 84・48%

例会プログラム

バナー披露

日比野親睦活動委員長

・家族忘年会及び

新春夜間例会のご案内

ロータリーソング

「大須ロータリーソング」

指揮者 伊藤 与則

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

独立行政法人原子力安全基盤機構  
理事長特別補佐 下村 和生さん

会員組織ゲスト

吉田 憲一さんご友人

株式会社森島羅紗店

代表取締役 杉本 忠夫さん

ピシタ

名古屋北RC 浦野 二男さん

ミニコボックス

下村先生本日の卓話よろしくお願  
いします。 鬼頭 茂成

丹下富博さんハワイお世話になり  
ました。 浦野先生いらっしやいま

せ。 岩崎 征一

素晴らしいハワイ例会でした。丹

下さんはじめ関係者の皆さんあり

がとつございました。吉田 隆彦

丹下さん大変お世話になりました。

木村 光徳

会長、幹事、丹下さん、前田さん、

近藤さん、ハワイ例会、お疲れ様

でした。とても楽しかったです！

林 順治

ハワイ例会、みなさんおつかれさ

までした。 春日井和良

堀江 英弥・渡辺 観永

ハワイ例会お疲れ様でした。

丹下 富博

ハワイ例会ありがとうございました。

柴岡 正将・大原 敏正

ハワイ例会楽しかった。木村さ

んありがとございました。アロ

ハ 田崎 雅三

無事帰国しました。今日は麻雀例

会です。お忘れなく。近藤宏一郎

木村さんお世話になりました。

前田 隆久

木村さんハワイでは大変お世話に

なりありがとございました。

草野 勝彦

アローハ ハワイのゴルフ例会で

優勝しました。同伴者の皆様あり

がとつございました。マハロ

草野 勝彦

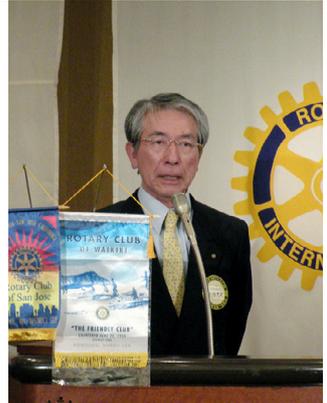
鬼の霍乱です。鹿児島で風邪を拾

つて来ました。 尾上 昇

母にお悔やみありがとございました。

川口 小折

会長挨拶 会長 鬼頭 茂成



みなさんこんにちは。

今日は、原子力安全機構の下村

和生先生の卓話です。今、原子力

発電が日本中では是非論にまで遡っ

て議論されています。この部分だ

けで政局にもなっています。しか

し、私たちは殆どマスコミからの

情報しかありません。今日は先生

から原子力の正確な、本当の話を

お聞きできるものと楽しみにして

います。

さて、先週の水曜日からハワイ

例会を行ってきました。予定通り

21日ワイキキロータリークラブの

例会に出席しました。ワイキキR

Cのミック・ミニコラ会長から歓

迎のご挨拶を頂き、私が名古屋大

須ロータリークラブを代表して挨拶

をさせていただきました。また、

メンバー全員で歓迎の歌を歌って

いただきました。卓話も聞かせていた

だきました。

その後丹下富博さんが運営され

ている、「さくらハウス」で職場例

会をして、奉仕活動を行ってまい



23日はハワイ島ヒロに渡ってジ

ヤパニーズセンターを訪問。ヒロ

ケアセンタで慰

問奉仕活動を行

ってまいりまし

た。岡村幹事と

丹下職業奉仕委

員長に計画して

いただいた通り

全て計画通り順

調に奉仕活動を行

つことが出来

ました。お二人

には最大級の敬

意を表したいと思います。

ありがとうございます。

また、このよ

うな海外活動の

した。

また、このよ

常としてハブニングもありました。私がホノルルからヒロに移動する際にホノルルのホテルに忘れ物をしてしまいました。それを渡辺観永さんがホノルル空港まで届けてくれました。劇的な受け取りが出来ました。渡辺観永さんの姿に阿弥陀様がだぶって見えたことをお伝えします。

計画通りといいますが、計画以上にロータリーの奉仕活動と親睦が出来たことを皆様へ報告してご挨拶とさせていただきます。  
「清聴ありがとうございました」

卓話

「原子力の安全と国際機関」

独立行政法人原子力安全基盤機構理事長特別補佐  
経済協力開発機構原子力機関  
元事務次長（安全・規制担当）  
下村 和生さん



はじめに

本日は名古屋大須R.C卓話にお招きいただき、鬼頭会長（東海学園の同窓生）他、事務局のみなき

まに感謝申し上げます。青春期を過ごした名古屋は、いつまでも懐かしく、また想い出深い地であります。小生は、原子力の開発・安全、科学・技術行政などの分野に30年以上従事し、そのうちの約半分合計で約14年間を経済協力開発機構（OECD）などの欧米に本部がある国際機関などで過ごしました。最後の任地は、仏国ストラスブール（国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構：2009年夏まで）でした。昨年の4月から現職に就き、国際機関等への対応など、欧州へは年間に5、6回程度の出張をしております。

本日は、「原子力の安全と国際機関」というタイトルで、原子力の歴史、国際的な動き・課題などにつきまして解説することになっていますが、小生の国際機関等での個人的な経験に基づいたお話ですので、原子力安全基盤機構を代表したお話ではないということをお断りしておきたいと思っております。本日は3つの観点からお話をしたいと思います。最初に、原子力開発・利用の経緯、ふたつめは、国際枠組み・国際機関の設立及び国際条約・基準類の整備について、最後に、原子力の安全に関する国際的に合意されている基本原則・考え方と東京電力福島第一原子力発電所事故との関連などについて

解説することになります。

原子力・軍事利用から平和利用

1930年代終わりに、ドイツの科学者であるオットー・ハーン博士らによりウラン・ウムの核分裂が発見されたことなどから、膨大なエネルギーを持ついわゆる原子爆弾の可能性が持ち上がった。米国は、第2次世界大戦下のマンハッタン計画において、原子爆弾を完成（1945年）し、広島及び長崎に投下した。その後、1949年にソ連邦（当時）、1952年に英国、その後、仏国及び中国が核実験に成功し、核兵器開発の競争が始まることになる。当時のアイゼンハワー米大統領は、1953年12月の国連総会の演説の中で、原子力エネルギーを平和利用に資するとして「アトムズ・フオワ・ピース」政策を提唱。1955年には、原子力の平和利用のための原子力研究・開発情報の公開のための会議がジュネーブにて開催された。同会議へは、世界各国から約1,700名余りが参加し、米・ソ・英・仏・加などの先進諸国は従来機密にしていた原子炉計画などを発表した。日本からは、国会代表団として中曾根康弘、志村茂治、前田正男、松前重義の4人の議員も参加した。この後、超党派で、国を挙げた原子力推進方針が形成され、原子力基本法な

どの成立、原子力委員会の設置等が進められることとなる。また、当時の東西冷戦の深刻化の中、軍事利用（核兵器に加えて、原子力潜水艦、空母も）における競争の激化とともに、原子力発電などの平和利用に関する国際競争も始まった。同時に、更なる核不拡散への懸念、安全確保の必要性に関して、国際機関、国際条約等の枠組みの設立が叫ばれ、いろいろな国際条約・決議などが締結されるようになる。  
（続きは次号以降に掲載します。）

バナー披露

サンホセR.C/カルフォルニア

神田 憲



12月13日（木）例会の案内  
SPEAK OUT DAY

12月20日（木）例会の案内

例会変更 同日 18時より受付  
家族忘年会  
於 名古屋東急ホテル

広報委員会

近藤宏一郎・林 富徳  
杉浦 令淑・青木 靖高

\* 本文は、原則、頂いた  
原稿を転載しています。

**第18回麻雀例会**  
平成 24年  
11月29日（木）  
於 マージャンサロン東天光

第18回例会優勝者  
萩 栄 賢 二さん



麻雀同好会は入会金はありません。  
当日参加料7,000円です。  
ただいま新会員募集中です。是非ご入会の  
ほど宜しくお願い致します！